

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 17 日 作成

事務事業名		中央校線交通安全施設整備事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名 上原 哲也
	施策	3	交通安全対策の推進			所属課	建設課	担当者名 府内貴生
	基本事業	10	交通安全施設の整備			所属班	工務班	(内線) 2275
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果
		1	8	2	3	10049		5
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 18 ~ 25 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	西合志中央小学校及び西合志中学校への通学路L=920mにおいて歩道設置、拡幅、舗装をおこなう交通安全事業である。市道中央校線は小中学生の通学路であるが歩道が無く、歩行者の通行に危険を感じる。地元要望により必要性を検討した結果、平成6年度から事業開始となった。変化は見られない。(平成22年度から事務事業統合により市道改良事業に登録する。)
【業務の流れ】	主な業務の内容は次のとおり。 18年度①測量設計業務、関係機関との協議、②用地買収、③道路改良工事、及び検査等 19年度～④用地買収、⑤道路改良工事、及び検査等、⑥関係機関との協議 25年度に全線完成の予定
【主な予算費目】	事業費は、委託費(測量設計、鑑定業務等)・公有財産購入費(用地取得費)・補償費・工事費に支出される。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	地域住民並びに道路利用者からの道路拡幅及び歩道設置の要望がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
境界立会、用地交渉、関係機関との協議	境界立会、用地交渉、関係機関との協議
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
⇒ア 用地買収面積 m	⇒イ 道路改良工事延長 m
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⇒ア 全改良延長 m
中央校線道路	⇒イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
道路を拡幅し、車道と歩道を分離することにより安全に通行できるようにする。	⇒ア 歩道の整備率 %
	⇒イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 歩道の整備率により事業の進捗状況がわかるため。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	m <sup>2</sup>	255.94	34	860	25			
	イ	m	297.5	0	200	55			
⑤ 対象指標	ア	m	920	920	920	920			
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%	33.8	37.5	59.2	43.5			
	イ								
投資 入 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円	23,180	324	8,550	331		
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	2,576	36	450	17		
	(A) 事業費計	千円	25,756	360	9,000	348	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0		0				
	(A)のうち時間外、特勤	千円	1,500		6,000				
人 件 費	正規職員従事人数	人	7	8	3	5			
	延べ業務時間	時間	860	339	840	299			
	(B)人件費計	千円	3,414	1,356	3,343	1,190	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	29,170	1,716	12,343	1,538	0	0	0

総トータルコスト 全体計画	
18 ~ 25 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	61,154
	0
	0
	5,765
	66,919
	7,500
	24
	3,599
	14,324
	81,243

合志市

事務事業名	中央校線交通安全施設整備事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷
	境界立会未完。		
有効性評価	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
	境界立会を完了し用地交渉を行う。		
効率的性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	成果は事業が完成しないと発揮できないが、進捗率は51.7%ほど進んでいる。これからは、事業最終年度完了を目標に、用地買収・改良工事を進めていく。		
公平性評価	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
	市道改良においては、庁舎内でも建設課のみ施工しており類似事業はない。		
役割分担評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	用地買収及び工事積算においても、リサイクル法等の適用によりコスト削減に努め経済比較を行いながら単価等の決定を行っているので余地はない。		
役割分担評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	本事業は、国から採択を受け施行しており、事業主体は市とされているため必要最小限度内において職員を分担している。よって正職員以外の職員は担当できない。		
役割分担評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	地域はもとより市民の通行利用もあることから、公正であると判断できる。		
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷
	住民や地域・団体への移行は出来ない。		

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

境界立会が未完のため、境界立会を行い計画的に用地交渉を行う。
--------------------------------

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率的性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下		
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

## (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

--